

「知の拠点あいち重点研究プロジェクトⅢ期」最終評価結果

1 総評

＜全般的な評価＞

- 知の拠点あいち重点研究プロジェクトⅢ期の最終評価結果は、3 プロジェクト 26 研究テーマのうち、S 評価区分が 3 研究テーマ、A 評価区分が 23 研究テーマであり、各研究テーマで順調に研究進捗が図られ、一定の成果を挙げることができた。

＜各評価項目の評価＞

- 「全体研究計画に示された目標の達成状況」について、目標としていた技術の確立段階以上には、開発ターゲット全体の 87% が到達し、生産準備・製品化に至ったものは 15 件に達するなど、概ね所期の目的を達成できた。
- 「参画企業の事業化の見通し、本県産業への貢献」については、ユーザー企業等の参画を得て、中間評価の結果を反映して実証試験を含む研究開発に取り組み、製品化や実用化に近いレベルまで試作品の高度化が図られたり、革新的な技術や蓄積されたノウハウによりプロジェクト発のスタートアップ設立も行われており、今後更なる県内産業への成果波及が進められることが期待できる。
- 「知の拠点あいち等の活用実績」について、新型コロナウイルス感染拡大により知の拠点あいち研究室の利用減少が見られたほか、研究内容により高度分析機器やシンクロトン光を始めとした施設の利用に濃淡が出る結果となった。

＜今後の取り組みに対する見解＞

- プロジェクト終了後の取組として、各研究チームは、最終評価における「今後の研究開発、社会実装へ期待する点」を、今後の期待値として受け止め、これまでの研究成果を踏まえた発展的取り組みを求めたい。
- そのために、これまでの研究開発により判明した技術的課題解決への努力はもとより、地域やユーザーを巻き込んだ実証試験の実施、競合分野の市場調査や新たな用途開拓とビジネスモデルの検討等によって、着実に製品化を目指し、本県発のイノベーション創出を図っていただくことを期待する。

2 研究テーマごとの最終評価結果

別紙のとおり。